

【学会発表一覧(植物系)】

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	演者(※:筆頭演者)
1	日本植物園協会 第55回大会	2020年5月21日	沖縄諸島の絶滅危惧植物現況調査IV(座間味島)	座間味島に生育する絶滅危惧植物の分布状況(新記録含む)、生育環境、生育状況、減少要因を調査した結果を報告した。	※阿部篤志・仲宗根忠樹・横田昌嗣
2	日本植物園協会 第55回大会	2020年5月21日	ホソバフジボグサの生息域外保全における種子発芽促進技術の構築	国内に1個体のみ自生が確認されているホソバフジボグサについて、生息域外保全を目的とした播種技術の構築を行い、その結果を報告した。	※佐藤裕之・具志堅江梨子・阿部篤志
3	日本植物園協会 第55回大会	2020年5月21日	絶滅危惧植物種子・胞子の超低温保存事業	沖縄美ら島財団にて取り組んでいる超低温保存事業の概要及び超低温保存の有効性を検証するための種子発芽試験の結果について報告した。	※天野正晴・佐藤裕之・徳原憲・阿部篤志
4	日本植物分類学会 第20回大会	2021年3月8日~10日	キク科の侵略的外来種 <i>Praxelis clematidea</i> (Hieron. ex Kuntze) R.M.King & H.Rob.八重山諸島に侵入	南米原産で東南アジアや台湾などに野生化し、侵略的外来種とみなされているキク科ヒヨドリバナ連の左の学名の植物が、西表島と石垣島で野生化していることを明らかにし、形態の酷似したカッコウアザミとの区別点を示した。	※米倉浩司・内貴章世
5	日本植物分類学会 第20回大会(発表賞受賞)	2021年3月8日~10日	西表島の植物解明に向けて:全島調査より見えてきた多様性と分布の傾向	西表島全域を1kmメッシュに区切って行った全植物相調査の中間報告(約75%終了時点)で、種多様性、絶滅危惧種の多様性、外来種の侵入度合いなどを統一的な基準に基づいたデータ解析によって浮かび上がらせた。	※山本武能・遠山弘法・設楽拓人・指村奈穂子・田金秀一郎・阿部篤志・米倉浩司・天野正晴・古本良・横田昌嗣・内貴章世
6	日本植物分類学会 第20回大会	2021年3月8日~10日	アキノキリンソウの平行的な溪流適応における形質の収斂と分化	しばしばアオヤギバナとしてまとめにされるアキノキリンソウの溪流環境への適応型について、その適応的形質の遺伝的固定性と地域間分化を調べた。沖縄島の型は屋久島以北とは異なる分類群であることが示唆された。	※阪口翔太・阿部篤志・長澤耕樹・高橋大樹・瀬戸口浩彰・牧雅之・喜屋武隆太・西野貴子・石川直子・廣田峻・陶山佳久・伊藤元己
7	日本レジャー・レクリエーション学会	2020年11月29日	沖縄地域における屋内緑化推進活動による効果に関するアクションリサーチ -オフィスグリーンプロジェクトの報告-	財団本部2階の職員を対象にインタビュー調査や呼吸器機能検査、体力測定を実施し、室内緑化前後の結果の一部を報告した。	※堀江久樹・辻本浩志・石坂正大・西岡ゆかり・横山誠・後藤佳子
8	日本農業学会 第128回講演会	2020年11月7日	沖縄本島におけるコンテナ栽培のドリアン樹の生育および果実品質	熱帯ドリームセンターで開花・結実したドリアンについて、生育環境、生育状況、開花・結実状況、果実の肥大の様子、果実品質を調査した結果を報告した。	※田代亜紀暁・下地俊充・澤岬明彦・端山武・稲田幸太・具志堅江梨子・高江洲雄太・前田隆昭